

(別紙4(2))

事業所名: グループホーム 泉ヶ丘

目標達成計画

作成日: 令和 6 年 5 月 31 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	コロナ禍以降、地域合同での防災訓練ができていない。防災面では、地域との連携・協力が必要であるが、現状では、全職員がホームの校区外に住んでおり、避難所の場所や安全な道順等もわかっていない。自治会との合同防災訓練の実施が課題である。	自治会と合同の防災訓練を行い、地域との協力体制を築くこと、また入居者の安全な避難方法を全職員が身に付けることができる	(1)防災訓練時に自治会役員の参加をお願いする (2)職員による避難場所までの歩き体験、避難経路の確認、避難手順のシュミレーション (3)災害発生時には地域の方の受け入れにも対応する	8ヶ月
2	49	昨年度より世の中がwithコロナへ転換し、当ホームでも心も身体もイキイキを取り戻そうと入居者の社会参加に取り組み、家族や外部との交流に力を入れてきたが、日常的な外出支援にまでは至っていない。	一人一人の希望に沿った日常的な外出支援を行う	(1)外気に触れる機会としてテラスや中庭の活用(花の水やり、外気浴、洗濯物干し等) (2)家族面会時の散歩、ドライブ (3)入居者自ら外出を希望されるような職員の働きかけ	3ヶ月
3	40	食の楽しみへの支援は、生活支援の中でも重要である。当ホームの調理は先任者が行っているが、検食を実施していなかったため、これまで味、硬さ、盛り付け等は調理者まかせになっていた。おいしいご飯を提供できるよい、取り組みの見直しが必要である。	食の楽しみや季節感のある、おいしい食事の提供ができる	(1)検食 (2)旬の食材(タケノコ、ふき、干し柿、からいもなど)に触れる、調理する、食べる機会を作る (3)献立表の掲示、食前のメニュー紹介 (4)残食量確認し、適切な量や嗜好を検討する	2ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。